

NISA推進戦略協議会（第2回）

金融経済教育の推進に向けた 取組みについて

2024年10月29日

金融経済教育推進機構 理事長 安藤 聡

J-FLEC

金融経済教育推進機構



- 2024年8月1日(木)
 - ✓ J-FLECホームページをリニューアル。
- 8月2日(金)
 - ✓ 「J-FLECはじめてのマネープラン」電話相談を開始。
- 8月14日(水)
 - ✓ 講師派遣(出張授業)で使用する「標準講義資料」をJ-FLECホームページにて一般公開。
あわせて利用に際しての留意事項についても公開。
 - ✓ J-FLECに事業移管した業界団体の教材も一般公開。
- 8月26日(月)
 - ✓ 新CMおよび「お金の知識力無料診断」を公開。
 - ✓ 講師派遣(出張授業)の申込受付を開始。
 - ✓ J-FLEC認定アドバイザーの認定申請の受付開始。
- 10月21日(月)
 - ✓ 「J-FLECはじめてのマネープラン」無料体験の申込受付開始。
- 10月23日(水)
 - ✓ J-FLEC認定アドバイザーのリスト・プロフィールを公表。
- 今秋より「J-FLECはじめてのマネープラン」割引クーポンの配布を開始予定。

※ イベント・セミナーについては順次実施中。
※ J-FLEC公式Youtube、公式X(旧Twitter)も開設済み。

[J-FLECホームページ](#)

[講師派遣で使用する教材の公開について](#)
[金融を学べる教材一覧](#)

[お金の知識力無料診断](#)
[講師派遣\(出張授業\)](#)
[J-FLEC認定アドバイザー](#)

[J-FLECはじめてのマネープラン](#)

[J-FLEC認定アドバイザー](#)

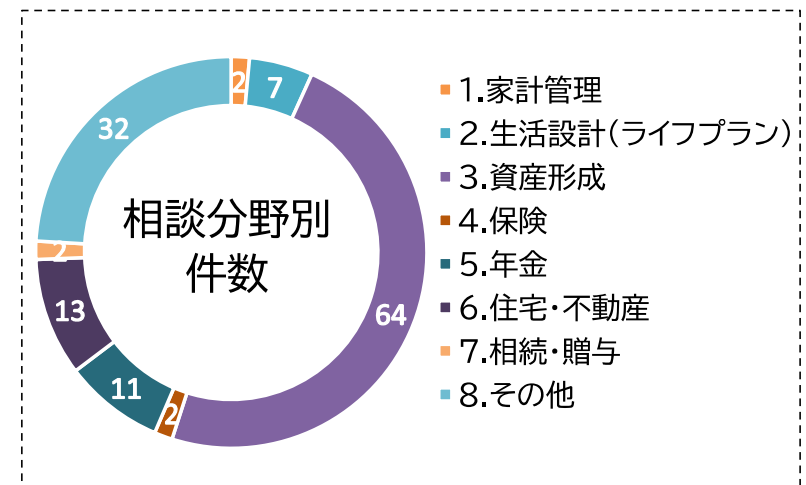
[J-FLEC公式Youtube](#)

[J-FLEC公式X\(旧Twitter\)](#)

□ 2024年8月2日から、J-FLEC相談員による「J-FLECはじめてのマネープラン」電話相談を開始。

【概要】

- 報告対象期間:2024年8～9月
(8月2日～9月30日 39営業日)
- 相談件数:133件
- 相談者:40代・50代・60代以上が中心
- 相談分野:「資産形成」が最も多い(48.1%)



【相談内容の例】

- ・出産や子の進学により、家計にどのような影響があるか。
- ・老後の医療費や介護資金としていくら用意しておけばよいのか。
- ・投資のリスクが怖いけど、どう考えるべきか。保有資産の何割程度を運用に回せばよいのか。
- ・相場が大きく変動しているけど、保有している資産(投資信託等)を売却すべきか。 ※ 8月初旬の相談
- ・金融機関から金融商品(外貨建終身保険、仕組債等)の購入を勧められたけど、購入した方がいいのか。
- ・年金の繰り下げ受給(繰り上げ受給)をしても問題ないか。
- ・住宅ローンは変動金利と固定金利どちらを選択すればよいのか。繰り上げ返済すべきか。
- ・子に毎年贈与をする場合の留意点は何か。

金融経済教育推進機構 (J-FLEC) 

@J_FLEC



相場が大きく変動すると一喜一憂される方もいると思いますが、安定的な資産形成のためには、積立・分散投資を長期間継続することが重要です。

国民の皆さんのより良い生活を支援するため、J-FLECは、家計管理や生活設計、資産形成など、幅広いテーマの金融経済教育を推進してまいります。

午後8:09 · 2024年8月5日 · 4.5万 件の表示



□ 2024年8月14日、J-FLECホームページにおいて、標準講義資料の一般公開を開始。

□ J-FLECの標準講義資料は、以下の内容に言及。

- リスクを抑えた安定的な資産形成には長期・積立・分散投資(上がっても下がっても焦らない等)が向いていること
- 金融トラブルを避けるために、「おいしい話には気をつける」こと 等

J-FLEC 4 2つの投資スタイル 32

○投資スタイルには(リスク・コントロール型とリスク・テイク型)の2種類があります。『リスクを抑えた安定的な資産形成にリスク・コントロール型投資が向いています。』

	リスク・コントロール型投資 (リスク抑制型の運用)	リスク・テイク型投資 (リスク許容型の運用)
ニーズ	投資で安定的な利益を出したい	投資で大きな利益を出したい
必要なもの	長期の投資観 少額からの定期的な積立金	短～長期の相場観、 まとまった運用資金
投資スタイル	長期・積立・分散投資	個別銘柄への集中投資・利
ポイント	長く続けること ⇒上がっても下がっても焦らない	自分なりの「売り」ルールをも ⇒上下一定の幅を超えない
運用方法	NISA(つみたて投資枠) iDeCo/企業型DC	NISA(成長投資枠) 通常の証券口座

J-FLEC 8 金融トラブルに対する鉄則 88

○金融トラブルを避けるための鉄則は3点です。

- ①『**おいしい話には気をつける**』。
「ローリスク・ハイリターン」はあり得ません。=「おいしい話」は存在しません。
- ②向こうから近寄ってきても、『**怪しいと思ったらはっきり断る**』。
「今だけ」「あなただけ」には要注意。遠慮せずに「いません」と断りましょう。
- ③万が一『**トラブルに遭ってしまっても、決して諦めない**』。
ひとりで悩まず、早めに適切な相手に相談することで解決策が見えてきます。

<主に一般の方々へ>

～将来を見据えたおかねのキホン～

NISAとiDeCoで始める資産形成セミナー

2024 **9.25** WED
18:30 ~ 20:00

NISA iDeCo

オンライン開催 参加無料
YouTube LIVE 配信

*事前申込制 (定員はありません)

本年4月、金融経済教育推進機構 (J-FLEC) が設立され、これまで以上に金融経済教育が注目を集めています。お金に関する様々な知識を正しく身に付け、経済的に自立することは、ウェルビーイングな人生を送るために非常に重要とされています。今、話題のNISAやiDeCoについてもしっかり学んで、お金や資産形成について、一緒に考えてみませんか？

プログラム ※開始予定時刻の5分前より参加可能です。※本プログラムは予告なく変更となる場合がございます。

- 1 政府高官メッセージ
- 2 金融リテラシーの基礎
J-FLEC認定アドバイザー 岡田 由美子
- 3 NISA 制度とその活用方法
金融庁 金融経済教育推進室 野村 泰康
- 4 iDeCo 制度とその活用方法
厚生労働省 年金局 企業年金・個人年金課 末永 理紗
- 5 Q&A コーナー 申込フォームでいただいた事前質問に講師がお答えします！

《申込方法》
下記 URL もしくは QR コードから申込フォームに記入・送信ください。
<https://form.dr-seminar.jp/lps/evkstg/kinyuseminar>
申込完了後、YouTube LIVE の視聴 URL がメールで届きます。

運営委託会社：東京セミナースタジオ株式会社 info@tokyo-seminar-studio.com 担当：トボ (36才)、大谷

<主に消費者教育に携わるの方々へ>

昭和女子大学 専門職大学院 公開シンポジウム (共催 金融経済教育推進機構)

消費者本位の金融経済教育 —J-FLEC認定アドバイザーが果たすべき役割—

金融経済教育推進機構 (J-FLEC) の設立を契機として、消費者の金融経済教育の必要性への関心があらためて高まるなか、J-FLEC認定アドバイザーによるアドバイスの実施業務及びその果たすべき役割を、特に消費者の立場から検討する。

日 時 ⇨ 2024年9月18日 (水) 18:30~20:45

開催方法 ⇨ ハイフレックス形式 (参加費無料)

会 場 ⇨ オンライン：Zoomウェビナー
対面：昭和女子大学 学園本部館3階 中会議室
東京都世田谷区太子堂1丁目7-57
(東急田園都市線 (半蔵門線直通) 三軒茶屋駅下車 徒歩7分)

申込方法 ⇨ 申込フォームまたはQRコードよりお申し込みください
<https://forms.gle/QVQT658ttrLmATBN7>

プログラム

- ◆オープニング・リマーク
坂東 真理子 昭和女子大学総長
- ◆シンポジウム趣旨説明
太田 行信 昭和女子大学特命教授
- ◆講演 「J-FLEC設立の狙いとその戦略」
安藤 聡 J-FLEC (金融経済教育推進機構) 理事長
- ◆講演 「消費者教育と金融経済教育の連携の新局面」
柿野 成美 法政大学大学院准教授
- ◆報告 「損害保険に関する消費者金融リテラシーの現状と課題」
遠藤 美紀子 東京海上日動火災保険株式会社 熊谷支社 シニアアソシエイト/
マスター消費生活アドバイザー (昭和女子大学専門職大学院 修了生)
- ◆パネルディスカッション
「消費者本位の金融経済教育の目指すところとJ-FLEC認定アドバイザーが果たすべき役割」
永沢 裕美子 良質な金融商品を育てる会 (フォスター・フォーラム) 世話人/
NACS (日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会) 理事
安藤理事長、柿野准教授、加納 克利 昭和女子大学教授
- ◆質疑応答
- ◆総括コメント
飛田 史和 昭和女子大学 特任教授

【お問い合わせ先】
昭和女子大学大学院 福祉社会・経営研究科 福祉共創マネジメント専攻
Mail : exam-senfuku@swu.ac.jp

<主に経営層や人事・福利厚生担当の方々へ>

<主に子どもとその保護者、教員の方々へ>

J-FLEC x SMBCグループ 共催イベント

定員 150 名様

参加 無料

9.26 Thu

第1部 18:00～
第2部 18:40～

大手町
サンケイプラザ
4Fホール

ファイナンシャル ウェルビーイングと 金融経済教育

18:00～【第1部】パネルディスカッション

THEME

1. 日本人の金融リテラシーの現在地
2. 企業にとっての従業員の金融リテラシー向上の意義
3. 金融リテラシーの向上に向けた取組

SPEAKER

金融経済教育推進機構(J-FLEC)理事長 安藤 聡

三井住友フィナンシャルグループ取締役 執行役員 伊藤 文彦

ファイナリティー フリアナカウンセラー 宇賀 せつる

18:40～【第2部】企業トークセッション

THEME

人的資本経営におけるファイナンシャルウェルビーイングの位置づけと具体的な取組

SPEAKER

NEC企業年金基金管理理事 NEC人材総務開発統括官 シニア年金プロフェッショナル 本間 智克 氏

株式会社パソナグループ 業務執行役員 HR本部長 金澤 真理 氏

早稲田大学大学院 早稲田大学ビジネススクール教授 入山 章典 氏

日時 2024年9月26日(木) 18:00～19:30 ※17:30 開場・受付開始

場所 大手町サンケイプラザ 4Fホール

対象 企業の人事部門、金融経済教育・人的資本経営に興味がある方など

お申し込みはコチラ

お申し込み方法 ▶ 下記URLもしくはQRコードから申込フォームに記入・送信ください。

https://www.smfg.co.jp/sustainability/whatsnew/2024/2024_09_26.html

共催 J-FLEC SMBC

J-FLEC NOMURA

次世代を担う子どもたちのための
金融経済教育イベント

参加 無料

ゲーム形式の授業も!

小中学生と保護者向け
親子で学ぶ

お金のコト

日本橋・兜町で、次世代を担う子どもたちのウェルビーイング・金融・経済の知識・経験を伝え、活かす方法を一緒に考え、「親子で学ぶお金のコト」を開催します。ぜひ、親子でご参加ください。

開催日時 2024年10月20日 12:30～16:00

■プログラム ※詳細は裏面をご確認ください

12:30 - 16:00 体験型イベント
親子でお金の体験授業

12:30 - 13:30 イベントセミナー
親子で、学校で学ぶお金のコト

13:40 - 14:40 同時開催：教員向けセミナー
「よく生きる」を実現する金融経済教育

開催場所 KABUTO ONE HALL & CONFERENCE

東京都中央区日本橋兜町7-1 KABUTO ONE 4階

● 東京メトロ東西線「茅場町」駅直結
● 東京メトロ銀座線・東西線、都営浅草線「日本橋」駅 O2出口 徒歩2分

主催 J-FLEC NOMURA

協力 docomo Benesse

後援

J-FLEC NOMURA

次世代を担う子どもたちのための
金融経済教育イベント

参加 無料

授業体験も!

教員のみなさま向け
学校で学ぶ

お金のコト

日本橋・兜町で、次世代を担う子どもたちのウェルビーイング実現のために、金融・経済の知識・経験を伝え、活かす方法を一緒に考えるイベント「学校で学ぶお金のコト」を会場・オンラインで開催します。ぜひ、ご参加ください。

開催日時 2024年10月20日 12:30～16:00 日曜日

※12:00～開場および受付開始

■プログラム ※詳細は裏面をご確認ください

12:30 - 13:30 イベントセミナー
親子で、学校で学ぶお金のコト

13:40 - 14:40 教員向けセミナー
「よく生きる」を実現する金融経済教育

12:30 - 16:00 教員・保護者用体験授業
親子でお金の体験授業

開催場所 KABUTO ONE HALL & CONFERENCE

東京都中央区日本橋兜町7-1 KABUTO ONE 4階

● 東京メトロ東西線「茅場町」駅直結
● 東京メトロ銀座線・東西線、都営浅草線「日本橋」駅 O2出口 徒歩2分

参加お申込み

下記二次元コードイベントページからお申し込みください

主催 J-FLEC NOMURA

協力 docomo Benesse

後援 JSDA 日本証券業協会

<主に富山県在住の一般の方々へ>


 ×

 北陸銀行
 共催セミナー

北陸初! J-FLEC共催セミナー



定員
40名

参加
無料

将来に向けて 知っておきたいお金の話

2024年

10月26日[±]

10:30~12:00

J-FLEC
(ジェイフレック) って?

金融経済教育を推進するため、
法律に基づいて2024年に設立された
中立・公正な認可法人です。

家計の現状把握から
外部知見の活用を通じた
将来設計・資産形成の考え方、
資産寿命の延伸、相続・贈与について






商品・サービスの
セールスは一切ありません

講師

J-FLEC認定アドバイザー
丹羽 誠 氏

・会場の場合により人数の制限がございます。
参加ご希望の方は事前にお申し込みをお願いいたします。
・講師等の都合によりセミナー内容が変更になる場合がございます。

会場

ほくぎんプラザ一番町
3階 多目的室

住所：富山県一宮町1番1号(一番町スクエアビル)
※北陸銀行越前町支店が1Fにございます。
TEL：076-423-7710
※当日のご連絡は会場までお願いいたします。
※ほくぎんプラザ一番町は午前10時より営業しています。
ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。



お申し込み方法・お問い合わせは、裏面をご確認ください。

□ 2024年10月21日(月)時点で、合計637名のJ-FLEC認定アドバイザーを認定済。

□ 8月26日(月)より、新規の認定申請の受付を開始し、所定の審査のうえ、順次認定。

※ これまで、既存講師(金融広報アドバイザー、金融・証券インストラクター、金融インストラクター、投資信託協会講師)、J-FLEC相談員として日本FP協会からの推薦を受けた者について、先行して認定審査を実施。

□ 10月23日(水)より、J-FLECのウェブサイト上において、上記のJ-FLEC認定アドバイザーのリスト及びプロフィールを公開。

【J-FLEC認定アドバイザー(637名)の属性】(2024年10月21日時点)

(年代)

20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
2名 (0.3%)	22名 (3.5%)	84名 (13.2%)	189名 (29.7%)	290名 (45.5%)	50名 (7.8%)

(保有資格) ※複数の資格を保有している場合は、左側のものから優先してカウント。

CFP	AFP	FP技能検定 (2級以上)	消費生活 相談員等	外務員 (1種)	士業(注)	証券 アナリスト	銀行業務 検定
293名 (46.0%)	122名 (19.2%)	110名 (17.3%)	40名 (6.3%)	31名 (4.9%)	30名 (4.7%)	9名 (1.4%)	2名 (0.3%)

82.4%

(注)税理士、司法書士、社会保険労務士など

【J-FLEC認定アドバイザー(637名)の都道府県分布】(2024年10月21日時点)

都道府県名	人数	都道府県名	人数	都道府県名	人数	都道府県名	人数
北海道・東北ブロック		北信越ブロック		近畿ブロック		四国ブロック	
北海道	19	新潟	17	滋賀	3	徳島	5
青森	7	富山	11	京都	14	香川	7
岩手	3	石川	9	大阪	29	愛媛	8
宮城	7	福井	6	兵庫	18	高知	0
秋田	5	長野	6	奈良	16	九州・沖縄ブロック	
山形	4	中部ブロック		和歌山	7	福岡	20
福島	4	岐阜	6	中国ブロック		佐賀	11
関東ブロック		静岡	14	鳥取	3	長崎	13
茨城	10	愛知	20	島根	2	熊本	11
栃木	10	三重	6	岡山	9	大分	10
群馬	7			広島	10	宮崎	5
埼玉	29			山口	6	鹿児島	9
千葉	27					沖縄	6
東京	124						
神奈川	63						
山梨	1						

赤字:8月1日時点より増加

□ J-FLECホームページにおいてJ-FLEC認定アドバイザーを募集中。

【J-FLECホームページに掲載する登録フロー】

01

お申し込み

募集要項を確認の上、申し込み
フォームから申請

02

書類・面接審査

J-FLECによる書類審査に合格し
た方へ、面接審査をご案内

03

プロフィールのご提出

面接審査に合格した方は指定さ
れた研修を受講し、公開用プロ
フィールを提出

04

ホームページ掲載

J-FLECのホームページにプロ
フィールを掲載

【J-FLECホームページに掲載する応募要件等(一部抜粋)】

認定要件

1. 次のいずれにも該当しないこと
 - ・ 金融商品の組成・販売等を行う金融機関等に所属している
 - ・ 金融商品の組成・販売等を行う金融機関等から、顧客に対するアドバイスの信頼性・公正性に影響を及ぼし得ると考えられる報酬を得ている
2. 家計管理、生活設計、NISA・iDeCo等の資産形成支援制度、金融商品・サービス、消費生活相談等に関するアドバイスを提供するために有益な資格(CFP®、AFP、FP技能検定(2級以上)、外務員(1種)、弁護士等の士業、消費生活相談員など)及び一定の業務経験(原則として当該資格に関するもの)を有すること
3. 法令諸規則違反等による、刑事罰、処分その他の措置を受けていないこと
4. 反社会的勢力ではないこと
5. その他、金融経済教育推進機構が不相当と認めた者でないこと

資格等及び 一定の業務経験の例

「アドバイスを提供するために有益な資格及び一定の業務経験」を例示。

- 本資料における記載事項は、本資料の日付時点のものであり、今後変更となる可能性があります。
- 本資料の無断転用・転載・使用を禁じます。